
青春

なとりうむ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

青春

【Nコード】

N9262P

【作者名】

なとりうむ

【あらすじ】

失恋した女性は、河原でただ叫ぶ。
誰かを責めるように、誰かを呼ぶように。

(前書き)

連作

――声が聞こえる。

澄み切っていて、なのに妙に力強い声が。

誰よりも聞きなれた声が。

誰よりも聞いてきた声が。

――またか。

この声は、きつと俺を呼んでいて。

この声は、きつと俺を責めていて。

この声は、きつと俺にしか止められない。

自惚れかもしれない。

勘違いかもしれない。

願望、かもしれない。

でも、行かないとな。

吐息が漏れる。

ずっと、ずっと待たせていたけれども、覚悟を、決めた。

無理なんてさせない。

無理なんてしない。

ただ、零れ落ちた幸せを、届けに行こう。

「君はもつと強い女性だと思っていた」

何が強い女性だ。そんなの、おまえが勝手に受けた印象じゃないか。

私だって人間なんだ、女なんだ。

強い訳ないじゃないか。

「もつと頼って欲しかった」

なんだよ。強い女性じゃだめなのか。私がどれだけ無理したと思
っているんだ。頼りたくても、助けてほしくても我慢したのに。

「なんかゝ重いつていうの？ 無理」

こっちから願い下げだ！

「バカヤローツツ！！」

私だって甘えたい時もあれば一人になりたい時だってあるさ。

都合のいい女になりたい訳ないだろ。

都合のいい男が欲しい訳ないだろ！

「ばっかやるおおお！！！」

私は……ただ、ただ単に……

「……っ！ ……はぁ」

足元の猫が、驚いて逃げてった。

零れ落ちた幸せと一緒に。

ああ、私は独りなんだな……

「近所迷惑なんだけど」

後ろからの声。

疲れたような、滲みてくる声。

お馴染みの、声。

「……ここは河原なんだから、迷惑じゃない」

「すぐ上、俺の家なんだけど……」

「おまえの家しかないんだから問題ない」

「いや、俺の家には迷惑だから」

「おまえしか居ないんだから問題ない！」

呆れたようなため息が聞こえてくる。

独りだと思ったのに、思っていたのに、聞こえてくる。

「またふられたのか？」

「別れたんだ」

「一緒じゃないの？」

「別れたんだ！」

「あつそ」

やめてくれ。

傍に居ないでくれ。

無言で隣に座らないでくれ。

「帰ってくれ」

「やだ」

笑顔なんて、見せないでくれ。

「ばかやろう」

違うから、そうじゃないから。

君は、優しい、から。

「夕日に向かつて『バカヤロー』か。青春だね」

「うるさい」

分かっているんだ。だから、努力しているのに。

「たまには違う台詞にしてみたら？」

「……他に言うことがない」

君を好きになりたくないから。きっと、私みたいな女は嫌われるから。

「あるよ」

「え？」

立ち上がる君から、目が離せなかった。

微笑む君に、心を奪われてしまった。

違うつて言い聞かせていたのに。

「好きだあああああ！ 大っ好きだあああ！！」

声が出ない。

頭が働かない。

違うんだ、これは違うんだ。

私のことじゃない。

私の……ことじゃ。

「恥ずかしい奴だな、君は」

「こっちの方が青春っぽいだろ」

「そうかな」

「そうだよ」

ああ、駄目なんだな……

不思議と、頬が緩んでしまう。

いや、不思議じゃない。分かっているんだ。

恋人を作っても、すぐに別れてしまう。

相手に合わせても、相手を合わせても。

『君は本当に僕が好きなの？』

答えられないんだ。

そして叫びに来てしまう。

「ばかやろう……」

「笑って言うことじゃないだろ」

私はきつと、此処が好きなのだろう。私でいられる、此処が。

好きなように叫んで、好きなように笑える所が。

昔から変わらない、君が。

「……き」

「え？」

「大好き……!」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9262p/>

青春

2011年1月9日06時56分発行